あまがさき下水道ビジョン２０３１　進捗評価票

方針	方針／取組	取組	R4評価
方針１	最小限の投資で最大限の効果を発揮させる高度な施設管理		
	取組	① ストックマネジメント手法を取り入れた施設の維持管理	△
		② 施設の劣化予測精度の向上や故障の予兆検知による耐用年数の見直し	△
		③ コンパクト化と統廃合検討を踏まえた施設の建替え	○
方針２	川や海の水質向上		
	取組	④ 下水の高度処理や水質監視計器設置等による川や海への放流水質の向上	△
方針３	地球温暖化対策の加速化		
	取組	⑤ 高効率機器の導入による省エネルギー化と下水道資源の有効利用による創エネルギー化	○
方針４	気候変動で増加する大雨や都市化による浸水被害の最小化		
	取組	⑥ 雨水ポンプの能力増強や雨水貯留管の整備による施設能力の強化	△
		⑦ 河川氾濫など浸水時のポンプ場・浄化センターの機能確保に向けた耐水化	○
		⑧ ポンプ運転の効率化や浸水被害軽減につなげる下水の流入予測技術の確立	○
		⑨ 民間事業者等による雨水貯留浸透施設の設置	○
方針５	地震発生時の下水道機能の確保		
	取組	⑩ 地震の影響を最小化する建築構造物や土木構造物の機能確保	○
		⑪ 防災拠点、災害対応病院、避難所など重要施設からの排水ルートの確保	○
		⑫ マンホールトイレの設置、設営の推進など避難所等でのトイレ機能の確保	○
方針６	災害時の下水道機能の継続と早期回復		
	取組	⑬ 業務継続計画（BCP）の充実	○
方針７	将来を見据えた経営による財政運営		
	取組	⑭ ストックマネジメント手法による将来投資額の縮減と財源の確保	○
方針８	柔軟な組織体制の構築		
	取組	⑮ 民間事業者等との連携を考慮した体制の構築	△
方針９	将来にわたり安定して事業運営できる職員の育成、確保		
	取組	⑯ 資格取得支援の推進とデジタル化を推し進める人材の育成	○
方針10	市民の声に沿った情報発信と事業に対する理解の向上		
	取組	⑰ 下水道の役割や災害に備える広報の充実と自助の促進	○

総合評価	
○	ビジョン１年目は概ね予定どおり進捗しています。 今後も引き続き、PDCAサイクルを十分に機能させて、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

【凡例】
◎：計画以上の達成状況
○：計画どおり達成
△：課題などにより、予定より遅れている
×：事業の中止、計画の取り止め